



京ヶ峰の四季

第70号

2020年春号



当院芳精倶楽部会館3階より満開の桜を望む

あいうえ大喜利 かきくけこんな時 さしすせそんな時(梅と酒)

この広報誌の巻頭言が届く頃なお、日本中がさまざまな自粛を余儀なくされ続けてしまっているかもしれないとは感じつつも、やはりそれでもなお自分を貫いて「我良天性を書く*」とばかりにサラリと筆を進めてみる。

メディアを少し賑わせたカタカナ言葉に物言いいも付いていたが、できる限り適切な和訳で補完併記したり図示したりする工夫や、微妙な差異を敢えて強調する等の演出がないと、正しく理解され記憶にまで至るにはなかなか及ばない印象である。

恒例の川柳に応募できるネタとして、頭文字が「サラリ」と並ぶ3語でちょうど韻も踏めるので紹介する。サバイバル、ライバル、リバイバルがそれであり、どの言葉も聴き覚えはあるであろう。厳しい医療情勢が続く現在にあっても、着実に生き残っていくために必要な事柄にもなっていて面白い(と自我持参*も忘れない)。

順に述べれば、文字どおり「サバイバル(生き残ること)」には、何より安全な衣食住の確保は欠かせず、加えて「医(医療)色(特色)柔(柔軟性)*」も備わっていればこの上ない。全職員の一致団結を引き続き願いたく、自らも精力的に活動したい。

続く「ライバル(同等以上の実力を持つ競争相手、好敵手)」は、特に聴き慣れた感も強く、同じラ行のリベンジ、ルーティン、レジェンド、ロールモデルなる用語群と照らして、イメージしやすい。スポーツ部門では、西武ライオンズ時代の松坂大輔投手の発言、当時ラグビー日本代表の五郎丸歩選手の所作、歴史的かつ伝説的な様々な選手が形容されてきている。亡くなられたノムさんこと野村克也監督の限りない教えや、今なお現役であるカズさんこと三浦知良選手の存在そのもの、末尾の用語2点は多分に重なるものでもあろうか。そんな対象を、スポーツ以外の専門分野で思い浮かべられるものが、各自にもあるかどうか。

最後の「リバイバル(復活、再生、復興、回復)」には、粘り強く地道に取り組みを続ける姿勢を、強く思い描くものである。努力が常に報われるわけではなく、人知れない活動によって何もかもが実は支えられている基本的なことを、改めて思い知る必要が大きいし、脚光や称賛を浴び続けるのも確かに難しい。油断せず永続する気概がないと、先人の示唆として広めたノムさんの語った「誉めて称賛するのは二流まで。一流は徹底的に非難する」(三流は略)に耐えられない。慢心せず謙虚に「当たり前前」の事を当たり前前に「持続していきたい。ずっとピークでは走り続けられないし、ある程度のスランプは自覚し経験したほうが良い。

自分たちのやっていることが来院者、利用者のみならずととの「こうなっていると安心」に繋がっていくように、私自身の座右の銘である「温故知新」と基本的なモットーである「前途洋陽*」を改めて胸に刻んで、この難局を乗り越えていきたいところである。
注:※はすべて滝川による造語・当て字です。

京ヶ峰岡田病院 医局長 滝川 英昭

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～



コラム

ボードゲームの世界

医局 関口 知也

この度、このコラムを書かせていただきます医局の関口です。よろしくお願いいたします。

皆さんはボードゲームカフェというものをご存知でしょうか。数年前から全国的にも広がりを見せており、愛知県でも時々目にするようになりました。読んで字のごとくボードゲームを



楽しむことを目的にした空間であり、カフェのようにコーヒーを飲み、軽食をとることもできます。入店するとゲームの数の多さに圧倒され、タイトルすら知らないものもいくつか散見されます。好きなゲームが決まったら所定のテーブルにつき開始します。ゲームが合わないと思ったらいつでも変更は可能であり種類も豊富なので、自分に合ったゲームと出会うこともできます。ちなみに、一人で入店しても店員さんが相手をしてくれたりするので十分楽しめます。

ボードゲームと聞くと思い浮かべるのは何でしょうか。オセロ、チェス、UNO、人生ゲームなどは世間の認知度が高く、イメージがしやすいと思います。しかし、それらは世の中に出回っている数多くのボードゲームの一部であり、名作となるゲームは日々登場しています。ボードゲームの歴史は古く紀元前3000年のエジプトのピラミッドの中にもボードゲームをたしなむ王族の壁画が描かれ、埋葬品からも出土しています。当時は王族の遊びの一つであったようですが、歴史的な変遷を見ると、科学技術と同様に人類の英知の断片のように思えてなりません。



今回はあまりマニアックにはならない範囲でお勧めのゲームを紹介したいと思います。自分の中で良いゲームとする指標があります。それは、①ルールがすぐに理解できる ②年齢を問わず興味を持って取り組める ③勝敗を気にしない です。①と②は似ています。ルールが理解できないと途中でやる気がなくなります。その結果、理解、知識を運用するまで努力した方々だけが残ります。愛情を持って続けることは良いことですが、どこか排他的な匂いが拭えません。多様な考えが交

錯する状態が理想であると考えます。③も自分としては大切だと思います。たとえ負けても笑って繰り返せるくらい楽しめているということですから。

それではゲームを紹介したいと思います。



●ゴブレットゴブラース

二人用の対戦型ゲームです。○×ゲームはご存知でしょうか。井のようなマークを描き交互に○×を打っていき、一列揃えば勝ちとするゲームです。これはその改良版で、駒のサイズが大中小の3種類ありそれぞれ2個の合計6個あります。一列揃えば勝ちですが、自分より小さいコマに被せることができ、より高い戦略性が必要になります。気づいたら負けてしまっていることも多々あります。

●ラブレター

カードゲームです。個人的には3,4人で遊ぶのがいいかと思います。自分の手持ちのカードは何と1枚です。カードには兵士、道化、騎士、僧侶、魔術師、将軍、大臣、姫などそれぞれに役割が与えられています。最初にランダムで1枚のカードを与えられ、毎ターン山からカードを1枚引き、どちらかを捨てます。カードは捨てることで効果を発動し、相手のカードが何かを当てに行きます。言い当てられれば負けになります。ちなみに姫を捨てると負けです。山がなくなったときに残っていたら、自分の持っているカードの強さで勝敗が決定します。記憶力、推理力、シンプルさがうまく融合したゲームだと思います。

●コリドー

正方形のボードの上で駒を動かすシンプルなゲームです。2~4人用です。駒を動かし対面まで進めば勝利とします。毎回駒を1マス動かすか、相手を妨害するフェンスを置くかの選択ができます。一つの判断ミスで致命傷になることもあり、ゴールまでの距離と相手の出方を総合的に考察して判断する必要性に迫られます。

以上、ごくごく一部ですが記載させていただきました。スマホゲーム全盛の時代ですが、たまにはアナログなゲームを楽しんでみてはいかがでしょうか。



病院TOPICS

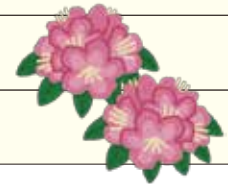
院内研究発表会のご報告

当院では医療サービスのさらなる向上と、よりよい職場作りのために、職員がテーマを設けて研究を行い、その研究結果を発表して院内で共有しています。2月に開催した「第18回院内研究発表会」のご報告を掲載いたします。

■開催日:令和2年2月17日(月) ■担当委員会:看護教育委員会・医療研修委員会

演題

	タイトル	担当部署
1	看護のスキルアップを目指して ~勉強会を通して得たこと~	北1病棟
2	看護職員及び看護助手のストレスの対処法 ~質問紙による調査結果からの一考察~	葵2病棟
3	長期入院者の退院支援の取り組み ~患者と共に初めの一步を踏み出す~	西病棟
4	病棟看護におけるアンガーマネジメントの実践 ~怒りに左右されない看護を行うために~	中病棟
5	デイケアセンター「スマイル」について	PSW部
6	医療費に関する諸制度について	医療事務部
7	IT推進委員会の役割	診療情報局



前半4演題は看護部より、後半はコメディカル・事務部門より発表がありました。

当日会場にて参加した職員とビデオで視聴した職員も含めると、多くの職員が参加したことになります。参加者アンケートによると一番印象に残った演題はNo.2の「ストレス対処

法」で、その研究からは、ストレスの一番の対処法は「同僚に話を聞いてもらう」という結果が出ました。

日々の業務に追われるのではなく、常に探求心を持ち、よりよい医療を提供できる環境を職員全員で作っていきたいと思います。

新病棟ニュース

「建物の柱部分の作業をしています」

3月上旬、今回は特別に許可をいただき作業現場を訪れ、建物の骨ともいえる柱に使われる鉄筋の溶接作業を離れたところから拝見しました。

こちらの写真は、『圧接*』という作業をしているところです。

この何本もの細い鉄が建物の基礎となる柱、鉄筋コンクリートの中心部分になります。

このように圧接し、棒をつなぎ合わせ、一階、二階・・・とだんだん上の階へと繋げていき、



一本の太い柱にしていこうという工程です。

新病棟は55本の柱によって支えられ、一本の柱には18本の鉄筋が使用されます。

実際に作業をされている方の説明によると、建物を支える柱の強度には自信を持っている、と頼もしく語っていただきました。新病棟の建設工事現場では、二階床部分の作業が始まっております。

※「圧接」とは?：溶接の一種で、圧力と熱を加えて鉄筋を接合する方法です。

工事の進捗状況はFacebookページでもご紹介しています。



行事報告



1月20日
(月)

新春コンサート 成人・長寿のお祝い

院内京ヶ峰ホールにて開催され、入院時に古稀、喜寿、傘寿などを迎えられた方をお祝いしました。また、新春コンサートも患者さんやスタッフ200名以上が楽しみました。

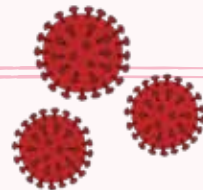


第15回京ヶ峰倶楽部展 「作品募集のお知らせ」

6月に開催予定の第15回京ヶ峰倶楽部展に出展する作品を募集しております。今年のテーマは「いちご」。絵画、書道、写真、手工芸、陶芸など、出展をご希望の方は当院リハビリ部へご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症への院内対応

新型コロナウイルス感染症の影響で、院内外の行事が延期・中止を余儀なくされています。今号では行事報告が1件のみでしたので、その代わりに新型コロナウイルス感染症に対する院内対応などを誌面にて紹介いたします。
(令和2年4月10日現在)



来院者へのお願い

診療時間内の本館への入館は、正面玄関のみに限定しております。入館の際は、マスク着用のうえ、手指の消毒をしていただくとともに、受付にて体温測定をさせていただきます。37.5度以上の方には、受診・面会をお断りいたしますので、あらかじめご了承ください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

みんなでマスクを作っています！

デイケアでは参加時の検温、座席の指定、マスク着用などの協力をお願いしています。マスクの無い方のために、マスク作りをプログラムとして取り入れています。

また、看護部職員はマスクの作り方を早くから院内で紹介したり、総務部ではスタッフ用の手作りマスクを用意するなど、マスク不足に対応しています。



おすすめコーナー

アレンジメントフラワー

本館の1階エレベーター前にアレンジメントフラワーが飾ってあるのをご存知でしょうか。季節を感じられるお花が活けてあり、毎週入れ替わるのを楽しみにしています。以前は自分でも寄せ植えや庭の手入れなどを気分転換に行っていましたが、今は忙しさを理由に荒れ放題の庭になってしまっ

ています。植物、お花は癒されます。春になったらガーデニングを頑張ろうかな。みなさんはどうですか。

看護部 早川

※次号は薬検部の奥田さんが担当します。よろしくお願いします。



編集 後記

春が来るとお花見を楽しみにしている人、学校や仕事でライフスタイルが大きく変わり、新生活で夢いっぱいの人もいるかと思いますが、中には花粉症で悩んでいる人もいますよね。

広報委員 新家

